

脱炭素化

川崎市の地球温暖化対策推進基本計画と重点事業（5大プロジェクト）

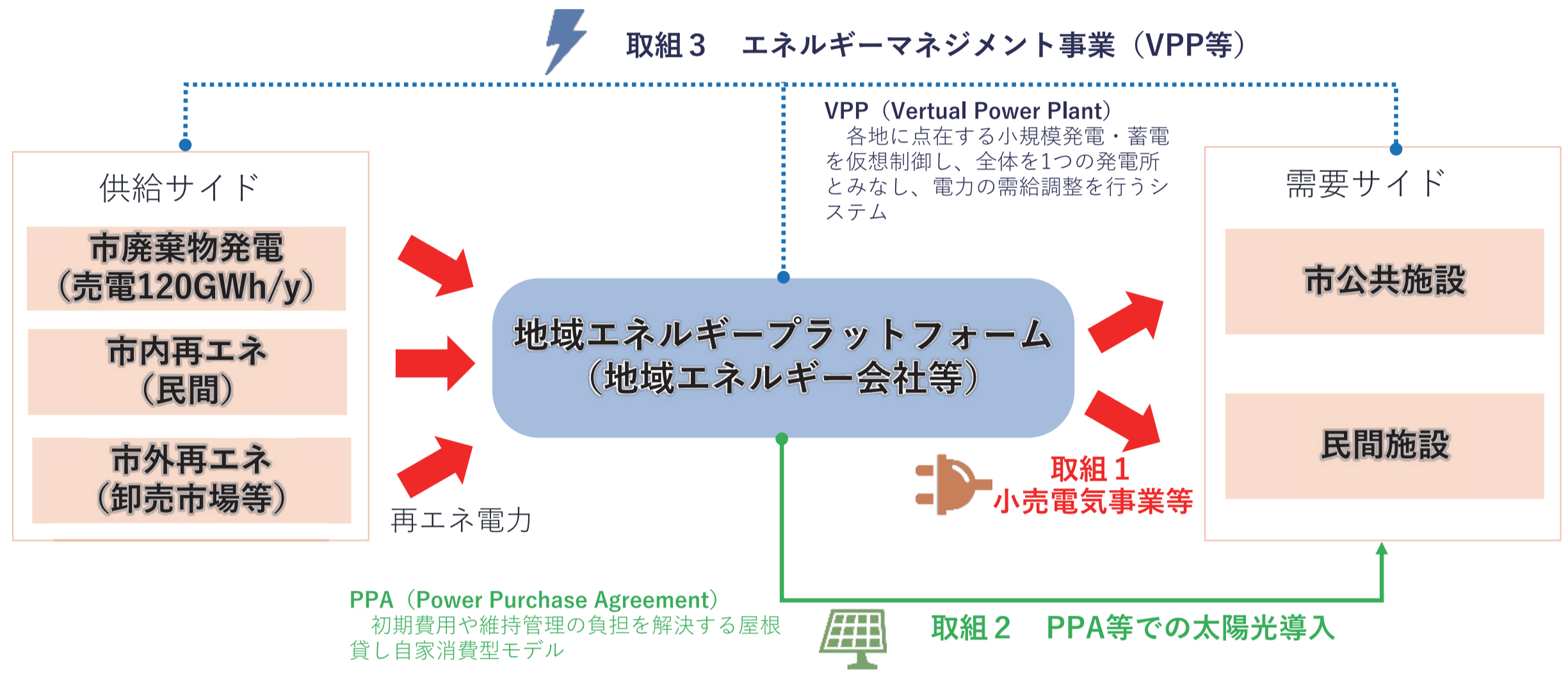
こうした背景を受けて、川崎市では地球温暖化対策に係る計画（川崎市地球温暖化対策推進基本計画）を大幅に改定し、2050年の脱炭素社会の実現に向け、様々な取組を進めています。中でも重点的に推進する事業（5大プロジェクト）を紹介します。

かわさきカーボンゼロ ロゴマーク



再エネ 地域エネルギー会社を中核とした新たなプラットフォームの設立

計画で定めている再生可能エネルギー（再エネ）導入目標の達成に向け、地域の再エネ電力に対する需要・供給の調整や、太陽光発電設備の導入を行う「地域エネルギープラットフォーム」を民間事業者等と連携して設立し、地域の再エネの有効活用を推進します。



地域エネルギープラットフォームのイメージ

産業系 川崎臨海部のカーボンニュートラル化・市内産業のグリーンイノベーションの推進



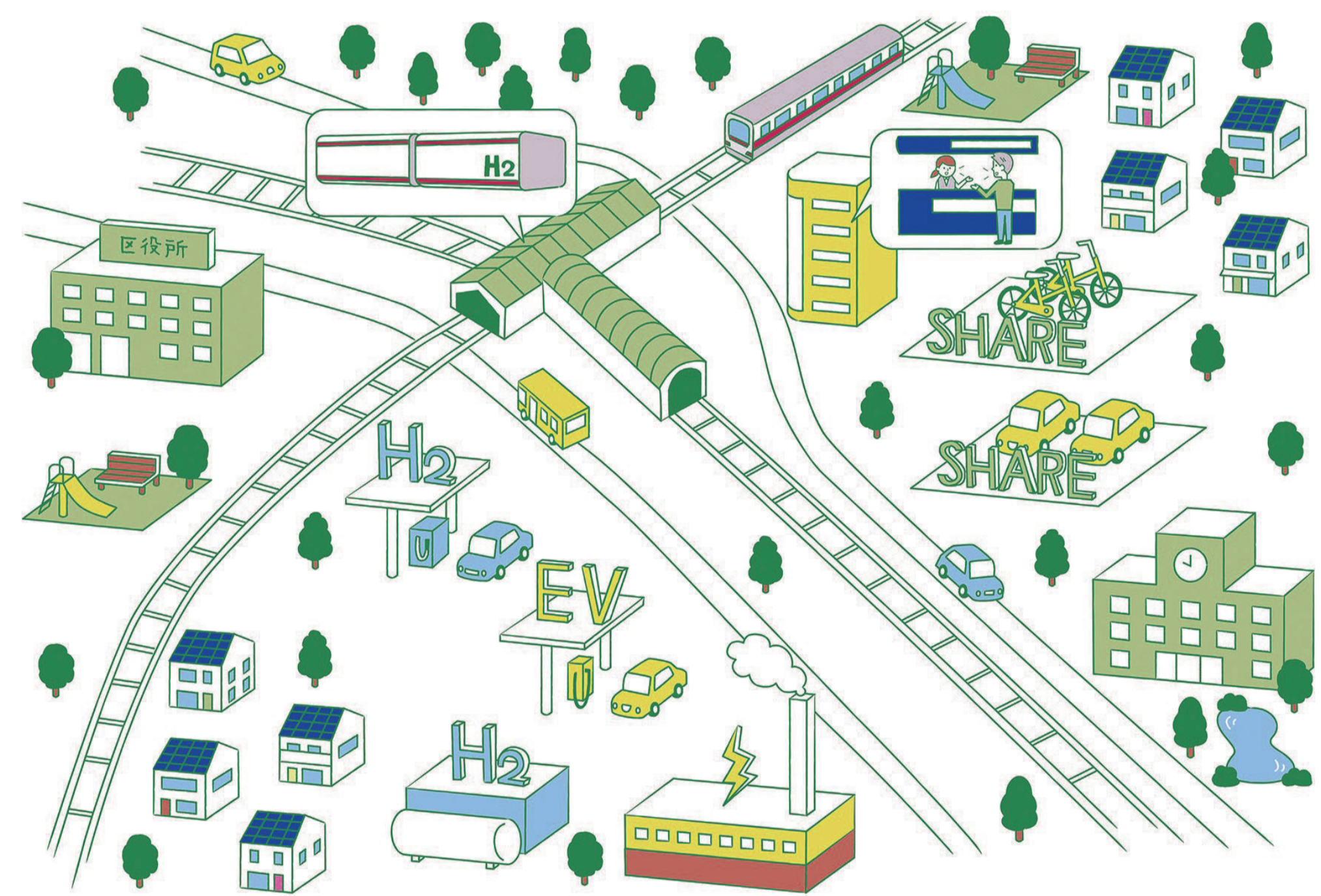
川崎国際環境技術展

川崎に集積する環境技術・産業、研究開発機関を最大限に活かし、川崎臨海部のカーボンニュートラル化を目指すとともに、市内産業のグリーンイノベーション（気候変動問題の解決と社会経済の持続的な発展を両立するための、エネルギー・環境分野におけるイノベーションのこと）を推進します。

民生系 市民・事業者の行動変容・再エネ普及等の促進

脱炭素社会の構築に向けては、国民一人ひとりのアクションが必要不可欠です。従来の普及啓発・環境学習の取組に加えて、市民・事業者が自然と脱炭素化に向けた行動に繋がっていくことができるような仕組みを構築します。

脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」のイメージ



交通系 交通環境の脱炭素化に向けた次世代自動車等の促進



燃料電池自動車（FCV）

私たちの普段の生活や事業活動と交通は密接に関わっています。交通分野の脱炭素化と大気環境の改善に向け、車両・船舶を次世代自動車等への転換を図るとともに、歩いて暮らせるまちづくりに向けた拠点整備、地域公共交通の利用などを促進します。

市役所 市公共施設の再エネ100%電力導入等の公共施設脱炭素化

川崎市役所自らが率先して、公共施設の省エネ化、再エネの導入（再エネ電力の導入、太陽光発電設備の設置など）、次世代自動車の導入などを行うことでCO₂排出量の削減に貢献するとともに、市民・事業者の取組の模範として、市域の脱炭素化の取組拡大を促進します。

学校屋上の太陽光パネル



川崎市地球温暖化対策推進基本計画の詳細はこちら⇒

